

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム ビボあいわ

作成日 : 平成 26年 8月 22日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 介護計画の短期目標設定に関する検討及び達成状況等の記載内容の検討・工夫が望まれる。	課題に対して、短期目標をより具体的に明記し、全職員が統一したケアが行なえるよう取り組む。個人生活記録にチェック項目を設け状況を記載し、達成状況を確認把握する。	毎月の検討会議で目標に対して、取り組み状況・達成状況の確認し必要に応じて修正を行う。特に「転倒」に関する課題については重点的に話し合う。	6ヶ月～12ヶ月
2	49	○日常的な外出支援 重度の利用者も外気浴し、気分転換を図れるような外出支援の工夫を期待したい。	外出機会の少ない重度の方を、日常的に短時間でも外気に触れる取り組みを行う。同事業所敷地内のテラスや、近隣公園に出かける。	現状の人員配置・業務内容を全職員で振り返り話し合い、外出できる時間帯・体制を確保する。介護実習生や市が取り組む高齢者ボランティア活動を生かし外出する頻度を増やしていく。	3ヶ月
3	2	○事業所と地域とのつきあい 地域との関係づくりについて、運営推進会議等に提案して委員から助言を得る等に努め、地域の特性を活かした交流が日常的に行われる工夫が望まれる。	地域との関係づくりが課題であることを再認識し、これまでの活動を継続しつつ、更に踏み込んで地域の特性を活かした交流が図られるよう、自治会をはじめ那覇市・地域包括との連携(協力関係)を図る。	地域の方々が足を運ぶアイデアを全職員で話し合い、運営推進会議等を活用し自治会・那覇市・地域包括にも提案して助言を得る。新都心近辺だけでなく那覇市介護支援ボランティア受入機関として指定を受け、高齢者のボランティア活動を広域からも紹介していただき受入れを行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。